

年 組 番
(名前)

<新聞記事から考えよう> 190322



さが2019 統一地方選

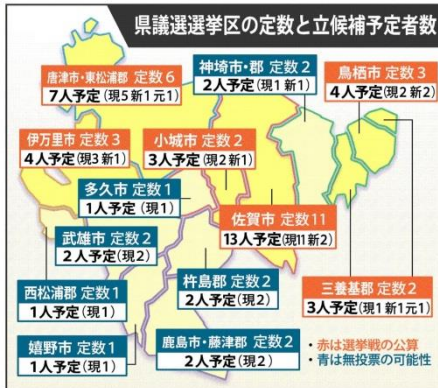
統一地方選前半戦の佐賀県選は、3月20日の告示まで1週間となった。佐賀新聞社の取材で、これまでに立候補の意思を示しているのは、定数38に対して現職34人、元職2人、新人9人の計45人となっている。構図はほぼ固まり、13選挙区のうち7選挙区で無投票の可能性もある。改選後は、自衛隊輸送機オスプレイの佐賀空港配備計画を巡る協議や、九州新幹線長崎ルート未整備区間(新鳥栖-武雄温泉)の整備方式見直しなどの国策課題への対応が迫られる。大型事業への積極的な投資を打ち出す山口県政へのチェック機能も求められる。無投票の公算が大きいのは、多久市(定数1)、武

さが2019 統一地方選

◎図から読み取ろう

○県議13選挙区の定数をまとめよう。

選挙区	定数	立候補予定者内訳
鳥栖市		
三養基郡		
神崎市・神埼郡		
佐賀市		
小城市		
多久市		
唐津市		
伊万里市		
西松浦郡		
武雄市		
杵島郡		
嬉野市		
鹿島市・藤津郡		
全議席数	38	現 元 新



1 県議選まで 7 選挙区 無投票か

雄市(同2)、鹿島市・藤津郡(同2)、嬉野市(同1)、神崎市・郡(同2)、伊万里市(同3)、小城市(同2)、三養基郡(同2)の6選挙区は選挙戦になるの見通し。佐賀市と小城市は女性の新人が名乗りを上げている。唐津市、鳥栖市、

伊万里市、三養基郡では一定の支持基盤がある元職や市議経験者らが出馬を予定し、激戦が予想される。党派別の立候補予定者は、自民27人、国民民主3人、公明と共産が各2人、社民1人で、無所属は10人となっている。投票日は4月7日に行われる。県内の統一地方選は、前知事の辞職に伴い知事選の日程が前にずれているため、前半戦は県議選だけになる。後半戦は多久、伊万里、鹿島の3市議選が4月14日、大町町長選と基山、大町、江北の3町議選が同16日にそれぞれ告示され、同21日に投票票される。(林大介)

(佐賀新聞 2019.3.22 付)

◎記事から読み取ろう

○選挙戦への展望をまとめよう。

- ・無投票になる可能性がある選挙区数は _____ 選挙区・・・上の表に印をつけよう。

◎広げよう・深めよう

○無投票になると、どんな問題があると考えられますか。

◎自分の考えをまとめよう

*友達と意見交換したり、家族と話し合ったりしよう。

○自分が住む地域は、 _____ 選挙区で [選挙戦 ・ 無投票]

- ・自分の住んでいる地域について、どんな要望・希望・期待がありますか。どんなことを実現してほしいですか。